

# 歴史人類

ISSN-0385-4795

## 第1号(1976年3月)

—西山松之助先生退官記念論集(一)—

平田学派の尊壊運動の一形態	芳賀登	1
吉備叛乱伝承の歴史的背景	井上辰雄	45
明初の宗教結社と支配体制	野口鐵郎	85

## 第2号(1976年10月)

—西山松之助先生退官記念論集(二)—

アルフォンス・ロッキーの一隅	西澤龍生	(1)
北アジアの旧石器文化におけるクサビ型石核について	加藤晋平	(25)
民俗資料の認識とその操作	千葉徳爾	(57)
ミクロネシア・ヤップ島の「貨幣」	牛島巖	(83)

## 第3号(1977年3月)

福田沖新開の開発と地域経済の近代化	菊地利夫	1
15世紀女真族社会と初期ヌルハチ政権の構造	田中通彦	31
ダビデとエルサレム	石田友雄	(1)
北欧の岩壁画におけるエルクと人	前田潮	(19)

## 第4号(1977年9月)

ムラの民俗とクニの歴史 :いわゆる「柳田民俗学」を超えるために	千葉徳爾	1
古代語部考 :その性格と伝承	井上辰雄	27

### 第5号(1978年3月)

常陸国河内金田・花室の条里的地割遺構の研究 :その復原と行動的歴史地理学的考察	菊地利夫	1
鈴木重胤と平田党 :鈴木重胤暗殺事件の背景	芳賀登	45
明史刑法志索引稿(一)	野口鐵郎	87
SOPET, SOPeTIM	石田友雄	(28)
南島の海上交通民俗 :造船儀礼を中心に	北見俊夫	(1)

### 第6号(1979年2月)

史料としての輿論 :フランク・ティボル著『英國(1865～1870)におけるハンガリー像』を例として	西澤龍生	1
ト部の研究 :その傳承と性格	井上辰雄	17
明史刑法志索引稿(二)	野口鐵郎	65

### 第7号(1979年10月)

日奉(祀)部の研究 :その傳承と性格	井上辰雄	1
行動地理学の論理と歴史心理	菊地利夫	53
日本民俗学の研究方法における二、三の問題について	千葉徳爾	85
明史刑法志索引稿(三)	野口鐵郎	119

### 第8号(1980年2月)

The Court of Auditors of the European Communities.	Margarete SAWADA	(1)
歴史記述家ゼルフィ・グスターヴ・ジェルジ	フランク・ティボル 西澤龍生 訳	(31)

## 第9号(1980年12月)

### — 菊地利夫先生・千葉徳爾先生退官記念集 —

菊地利夫教授と歴史地理学	黒崎千晴	1
千葉徳爾教授と日本民俗学	宮田登	21
宋元時代江南デルタにおける水利・農業の技術的展開 : 華北との対比において	長瀬守	41
真空教と無為教 : 廖祖教と羅祖教	野口鐵郎	103
村田春海の歴史的位罫 : 文人社会の基盤と関連させて	芳賀登	135
平戸諸島の里修験	宮本袈裟雄	171

## 第10号(1982年3月)

### — 直江廣治先生退官記念集 —

直江廣治先生と民俗学	北見俊夫	1
ユーフラテス流域ルメイラ出土の家形模型	増田精一	31
平田篤胤の学問の社会的基盤 : 江戸の民俗的風俗的事實との関連を中心として	芳賀登	51
シンガポール／マレーシア 華人社会と宗教信仰	野口鐵郎	107
北海道開拓地における無願神祠に関する覚書 : 天塩町ウブシ原野の鎮守社創建を中心に	村田文江	127

## 第11号(1983年3月)

### — 田中正美先生退官記念集 —

田中正美先生と中国近代史研究	安藤正士	1
伊東多三郎の「国学・洋学」の課題 : 研究史の発展を求めて	芳賀登	9

シベリア・ブレチ遺跡について	加藤晋平	(121)
西カロリン諸島・ウルシー環礁社会における土地保有集団 :母系, 夫方居住婚社会における親族集団構成	牛島巖	(71)
トマス・ジェファソンとバー裁判	明石紀雄	(37)
スイス急進民主党の平和テーゼ	澤田昭夫	(23)
The EEC at Twenty-Five : A Critical Comment	Margarete SAWADA	(1)

### 第12号(1984年3月)

岡本敬二先生の歩みとその思い出	長瀬守	1
明治国家における伝統思想と近代思想	芳賀登	11
明治前期, 最終需要から見た地域構造 :菓子税負担率を指標として	黒崎千晴	63
高句麗王統の交替をめぐる	田中通彦	107
適応の論理と心理 :ブラジル日系人の母国敗戦時の変動	前山隆	127
The WEPTO Opinion: Japan's New Role in East Asia/ Pacific, Collective Security.	Yatsuhiko NAKAGAWA	(1)

### 第13号(1985年3月)

#### —川喜多二郎先生退官記念集—

川喜多二郎先生最終講義「私が歩んだ道、歩む道」	川喜多二郎	1
川喜多二郎先生の最終講義に寄せて	掛谷誠	23
情報化社会と民俗的基盤	北見俊夫	29
明治期, 洋法医療普及の地域的動向	黒崎千晴	53
プロテスタント宣教師メドハーストとギュツラフの中国文著作について	吉田寅	89
國王の逐電	西澤龍生	137

要素統合と共同市場 : ECにおける労働移住自由化度	澤田マルガレーテ	163
<研究ノート>18世紀チェサピーク史研究における最近の動向	明石紀雄	(1)

#### 第14号(1986年3月)

入華プロテスタント宣教師の海外事情紹介	吉田寅	1
ハラフ土器をめぐる一考察	常木晃	43
ラテン・アメリカ世界の形成過程における都市と外部空間 : 植民地時代ブラジルとメキシコの比較から	山田睦男	(27)
INF in East Asia and a Japanese Decision to Go Nuclear : the Era of a Nuclear Coalition Deterrence	中川八洋	(1)

#### 第15号(1987年3月)

富豪の家伝の形成過程 : 古橋家における『古橋翁略伝稿』の成立過程	芳賀登	1
『天道溯源』と中国・日本のキリスト教伝道〔上〕 : 付『天道溯源』訳註 上	吉田寅	39
中国における近現代史研究の新潮流と諸問題	安藤正士	133
『板倉政要』第六巻～第十巻 裁判説話の部	熊倉功夫	155
シベリア少数民族ユカギール族の村を尋ねて	加藤晋平	(1)

#### 第16号(1988年3月)

『天道溯源』と中国・日本のキリスト教伝道〔下〕 : 付『天道溯源』訳註 中・下	吉田寅	1
国学の継承	芳賀登	91
京都府協和会と宇治の在日朝鮮人	千本秀樹	173
公式令と太政官行政 : 奉勅上宣官符の成立をめぐる	早川万年	217

河川交通に関する明治期統計資料の検討	小野寺淳	(65)
北海道河東郡上士幌町嶋木遺跡の石器文化 :北海道最古の石器群の発掘調査報告	加藤晋平/山田昌久	(1)

#### 第17号 (1989年3月)

社会科から世界史へ :新学習指導要領の評価	澤田昭夫	1
鎌倉後期における地方門前宿市の発展 :上野国世良田を中心に	山本隆志	17
校註 上総日記	西野元	51
朝鮮開花運動と福沢諭吉	鄭楽重	(31)
日本における古墳時代牛馬耕開始説再論 :東アジアにおける農耕技術の拡散と日本における古墳時代後期～律令国家成立期の技術革新の様相	山田昌久	(1)

#### 第18号 (1990年3月)

荘園制の形成と土地台帳	山本隆志	1
原型と喪失 :最近のスペイン史論より	西澤龍生	51
一八九七年フィールディング関税におけるカナダの「対英特惠」政策	木村和男	123
ヨーロッパ家族史研究における「家族」概念をめぐって :ミッテラウアーを中心として	森明子	173
Democratization of Korea : will it survive?	鄭楽重 (Chong, Nak Jung)	(1)

#### 第19号 (1991年3月)

大正期の民力涵養運動と自由教育論争 :共同体経営と自己革新の位相	池田元	1
企投と原型 :モナルキア・カトリカと等身大のスペイン	西澤龍生	91

ケルト人のMatronae信仰 :ケルト・ゲルマン・ローマそしてギリシア,四つ巴の宗教融合	相京邦宏	(85)
国家像と民衆像 :民族的偏見と差別の根を問う場として	大濱徹也	(49)
The balance of power : an historical caveat.	Harald Kleinschmidt	(1)
<b>第20号 (1992年3月)</b>		
荘園公領制と在地産業 :若狭国遠敷郡の浦と荘園・公領	山本隆志	1
洪亮吉伝(初稿)(一)	片岡一忠	43
カーメー儀礼の一考察(上)	古家信平	(75)
The Balance of Power : An Historical Caveat	Harald Kleinschmidt	(1)
<b>第21号 (1993年3月)</b>		
語りの零落 :村共同体での笑話	武田正	1
『年中行事障子』の成立	黒須利夫	25
洪亮吉伝(初稿)(二)	片岡一忠	55
総目次(第1号～第20号)		(229)
教会史・誌目録(稿)	大濱徹也	(187)
漁民信仰論序説 :フナダマ信仰を中心として	徳丸亜木	(79)
The Balance of Power : An Historical Caveat	Harald Kleinschmidt	(1)
<b>第22号 (1994年3月)</b>		
中世金属鉱山の研究	田中圭一	1
洪亮吉伝(初稿)(三)	片岡一忠	59
秩父谷における市町の成立と展開	岡村治	85

中国における議院内閣制論に関する一考察 :1912年の国民党の結成とその論理	鏡屋一	(113)
筑波周辺 of 古墳時代首長系譜	滝沢誠	(89)
An Anthropological Perspective on Social Change in the Modern World-System	MAEGAWA, Keiji	(47)
The Balance of Power : An Historical Caveat IV	Harald Kleinschmidt	(1)

### 第23号 (1995年3月)

聞き語り ある近衛兵の「戦争」	千本秀樹	1
1920年代における章士[ショウ]の政治論 :約法体制の崩壊と新国家建設構想	鏡屋一	(179)
藩政期防長両国における民俗信仰の諸相(前編) :「森林信仰」を中心として	徳丸亞木	(141)
豚肉の分類・料理・儀礼(上)	萩原左人	(117)
新疆のシボ族	楠木賢道	(73)
鉦山神としての虚空蔵菩薩 :金属と民俗学・その(一)	佐野賢治	(53)
The Balance of Power : A Historical Caveat V	Harald Kleinschmidt	(1)

### 第24号 (1996年3月)

大儀の系譜:律令国家の威儀をめぐる一考察一	黒須利夫	1
「ヴィルヘルム・ヴェーバー伝」	(故)ヘルトホルト・ルロ ン著／翻訳・解説・註 和田隆	27
洪亮吉伝(初稿)(四)	片岡一忠	51
性民俗をめぐる諸問題 :いわゆる初夜権の慣習を中心に	平山和彦	(83)
黒龍江將軍衙門档案からみた康熙23年の露清関係	楠木賢道	(27)
Magie des Sprechens	Harald Kleinschmidt	(1)



## 第25号 (1997年3月)

明治の楚王府 : その政治史的側面	佐藤文俊	1
佐竹氏の陸奥南郷経営 : 戦国期から統一政権期にかけて	佐々木倫朗	45
拝天公よりみた南部台湾の民間信仰	古家信平	(85)
軍事救護法の受容をめぐる軍と兵士	郡司淳	(45)
ミシュレの青春時代(1798-1824)	立川孝一	(25)
How and What End Do We Study the History of International Relations? : Answers from the View Point of an Historian	Harald Kleinschmidt	(1)

## 第26号 (1998年3月)

明治の楚王府 : その財源の側面	佐藤文俊	1
唐開元長安城図作製試論	妹尾達彦	41
中国近現代の官・商関係と華僑企業家 : 時期区分と企業家類型についての覚書(一)	中井英基	(167)
オスマン帝国末期の英国黒海汽船海運 : 「英国領事報告書」より	小松香織	(125)
ドキュメンタリー「南北戦争」(1990年) : 20世紀アメリカにおけるホメロスの叙事詩	明石紀雄	(99)
童叢の誕生 : 台湾における座禁儀礼からみた民間信仰の諸相	古家信平	(41)
William Henry Stevenson and the Continental Diplomats of His Time	Harald Kleinsvmidt	(1)

## 第27号 (1999年3月)

唐長安城における官人の移住環境	妹尾達彦	1
印制にみえる清朝体制 : 清朝と八旗・外藩・朝貢国・中国内地の関係	片岡一忠	(1)
中国近現代の官・商関係と華僑企業家 : 時期区分と企業家類型についての覚書(二)	中井英基	(65)
ヒッタイト帝国成立の背景	紺谷亮一	(93)
アナール第3世代における自己破壊の歴史哲学 : ルゴフ『歴史と記憶』に寄せて	立川孝一	(127)
落獄府の一考察	古家信平	(145)
The Rise and Fall of the Generation Contract.	Harald Kleinschmidt	(177)

## 第28号 (2000年3月)

レンディーレ社会におけるねだりの社会的制御	佐藤俊	(1)
奈良県宇智郡薬舗にみる売薬取扱品とその特色 : 明治期を中心として	小口千明	(43)
台湾南部の法師による開廟門儀礼(上)	古家信平	(79)
カンボジアの華僑華人 : プノンペン市の調査事例報告	稲村務	(103)
「日光山御神事記」について	山澤学	1

## 第29号 (2001年3月)

オスマン海軍におけるカボタージュ権問題 : 英国汽船をめぐる	小松香織	(1)
1644(崇禎17, 順治1)年の江南における李公子像	佐藤文俊	(19)
清末民国初の栄氏企業家たちと無錫・振新紗廠	中井英基	(39)
ワールドシステムの外側 : トロイとダニューブ河流域からの視点	紺谷亮一	(79)

東南アジアの「山地民」再考 :タイの山地民研究を中心に	小野澤正喜	(97)
キリバスにおけるスワンブタロ耕作田の放棄と栽培の活性化	風間計博	(115)
フィリピン・ミンダナオ島における近代学校教育 :新しい知識の専門家としての「プロフェッショナル」をめぐって	鈴木伸隆	(147)

### 第30号(2002年3月)

覚如と唯円と初期浄土真宗	今井雅晴	1
荘園制的宗教秩序の形成 :中世在地寺社の形成と存続	苅米一志	29
「中興開闢記」及び「日光山謂記覚」について	山澤学	83
シャンの文字文化と民族意識の形成 :ミャンマーとタイにおけるシャン文字文化の比較研究	村上忠良	(77)
グローバル化と文化的行為としての消費	鈴木伸隆	(57)
中国ハニ族の「支系」について :民族識別と「支系」概念の整理	稲村務	(29)
栄家档案資料と研究状況について	中井英基	(9)
『歴史人類』総目次(第1号～第30号)		(1)

### 第31号(2003年3月)

Histories of People and Land in Modern Kerala	内山田康	
Part I: The Dominant Narratives of Progress and Artificial Landlessness in Kerala		(1)
Part II: Parallel Histories of Ancestral Land in Kerala		
The Evolution of Lower Pleistocene Lithic Technology in East Africa	木村有紀	(71)
浄土真宗史における父と息子	今井雅晴	(97)
ミシュレの書簡 :歴史哲学への道(1820-1827)	立川孝一	(119)

台湾における廟の動態に関する一考察 :由来譚の生成と交流範囲の変化	古家信平	(149)
常陸三村山採集の永福寺系瓦と「極楽寺」銘梵鐘 :三村山極楽寺の創建と八田知家をめぐる宗教環境	桃崎祐輔	(167)

### 第32号(2004年3月)

江の島合戦と足利成氏の関東府再建構想	阿部能久	1
中国近代製粉業史の研究 :上海阜豊面粉廠と寿州孫家	中井英基	(1)
利尻島種屯内遺跡の考古学的調査	種屯内遺跡調査団 (代表:前田潮)	(53)
米国植民地統治下におけるフィリピン・ミンダナオ島と管理される主体としての「モロ」	鈴木伸隆	(117)

### 第33号(2005年3月)

語り聞き ある満鉄機関士の戦争	千本秀樹	1
神社合祀政策における氏神・祖先・「森」の認識 :『全国神職会会報』を中心として	徳丸亞木	53
民国初の上海における福新製粉会社の創設 :栄家企業史のひとつとして	中井英基	(1)
大田南畝が抄写した『平定準●爾方略』 :江戸時代知識人の海外情報摂取の一側面	楠木賢道	(27)
19世紀のオスマン海軍における非ムスリム任用問題 :「徴兵抽選拒否事件」関係史料の分析を通して	小松香織	(45)
ミシュレの往復書簡(2) :7月革命の前後(1828-1838)	立川孝一	(75)
キリバス南部珊瑚島におけるパンダナス果実保存食品の維持と消失 :植物利用と村集会所・土地・先祖との連環	風間計博	(93)
米国植民地統治下におけるフィリピン委員会のイスラーム教徒指導者へのインタビュー	鈴木伸隆	(139)

第34号(2006年3月)

村所民俗記 :宮崎県児湯郡西米良村の生活と伝承	徳丸亞木	1
近現代中国における「西北」への関心と研究の歴史	片岡一忠	(1)
康熙帝の側近, シャンナン=ドルジの奏摺	楠木賢道	(63)
ミシュレと中世 :人種・地理・キリスト教	立川孝一	(89)
視座は提示できたか :田中雅一『供犠世界の変貌-南アジアの歴史人類学』を読む	内山田康	(121)
マス・メディアにおける答志島・答志の寝宿慣行に関する理解の特徴 :新聞・雑誌記事を中心とした検討から	宮前耕史	(141)
ナジェーブ・サリビー『モロ問題』翻訳と解説	鈴木伸隆	(173)

第35号(2007年3月)

明治中後期風俗改良に関する一考察 :志摩郡越賀村における若者組織と「遊屋」改良	宮前耕史	1
明朝の官印制度	片岡一忠	(1)
オスマン帝国近代史史料としての『特別給与台帳』について	小松香織	(59)
ミシュレにおける象徴の歴史学 :ボニファティウス8世からエティエンヌ・マルセルまで(『フランス史』第3巻)	立川孝一	(83)
民俗学のデザイン :講義録「民俗学概説」第3講	真野俊和	(113)
カトリーヌ・ゴフの小農と帝国主義	内山田康	(143)
The "Indirect Historical Method": History and Archaeology in the Work of Umehara Takeshi	Mark J. Hudson	(163)

### 第36号(2008年3月)

近世後期北奥における被差別集団の動向 : 弘前藩による革師の編成をめぐって	浪川健治	1
島で語られたこと : 怪談と語り	徳丸亞木	27
五代・宋時代の官印制度	片岡一忠	(1)
清初におけるアバタイ系宗室 : 婚姻関係を中心に	鈴木真	(75)
「定義する」ことは可能か : 講義録「民俗学概説」第5講	真野俊和	(109)
沈黙する死者 : 降霊術師とケーララのモダニティ	内山田康	(135)

### 第37号(2009年3月)

高野山金光院「三春家中過去帳」とその世界 : 史料紹介をかねて	山本隆志・阿部綾子	1
士族ハリスティアニンの在村時代 : その日常と知的営為	山下須美礼	45
山梨県のジルイ : 文字資料と伝承を素材として	中込睦子	63
清朝の「方略」編纂と『皇朝武功紀盛』にみえる趙翼の清朝観	片岡一忠	(1)
エイブラハム・エプスタインと1935年社会保障法の制定	佐藤千登勢	(39)
クラティとカーリー : 階層的な合目的性の袋小路と動く身体が繋ぐ考えられない系列	内山田康	(65)

### 第38号(2010年3月)

日光社参における将軍権威の表彰 : 天保14年「日光御参詣警固絵図」を中心に	山澤学	1
---	-----	---

オスマン帝国末期の海洋活動と黒海沿岸民	小松香織	(1)
歴史における「個人」の描き方 :シャルル6世とオルレアン公ルイ (ミシュレ『フランス史』第4巻)	立川孝一	(25)
明治・大正期の巖島を描いた鳥瞰図	中西僚太郎	(57)
頭蓋骨埋葬の二態	常木晃	(85)

#### 第39号(2011年3月)

東国における武士と法令・祭礼との関係 :足利鑱阿寺・宇都宮神宮寺の一切経会を中心に	山本隆志	1
幕末における芸能興行とその受容 :弘前藩領をめぐる動向と娯楽享受	浪川健治	51
「民俗〇〇」の検証 :民俗学者の語彙論	武井基晃	89
透過性をもっていた境界	内山田康	117

#### 第40号(2012年3月)

明治初期ハリストス正教会における仙台藩士族の西日本伝教	山下須美礼	1
中部太平洋バナバ島における燐鉱石採掘への抵抗と敗北 :近代世界への包摂と認識論的転換に関する試論	風間計博	(1)
現代の草墳葬 :韓国全羅南道莞島郡青山島の草墳葬を事例として	徳丸亞木	(27)
日本占領期における日本民俗学者とアメリカ社会人類学者の邂逅 :民間情報教育局(CIE)によるNational Fishing Village Surveyとattitude surveyから	中野泰	(73)

#### 第41号(2013年3月)

ミシュレと現代歴史学	立川孝一	(1)
民俗と内面化についての基礎的考察 一 :中国浙江省A鎮・B村における火葬受容を事例として	徳丸亞木	(23)

幻のForestry Sciology :GHQ下の構想と民俗学者の参与	中野泰	(63)
3.11の問い :その場所と時間	内山田康	(119)

#### 第42号(2014年3月)

豊漁を呼ぶフナダマ :<漁運>の獲得と御神体	徳丸亞木	1
アメリカのILOへの加盟とニューディール :労働法との関連をめぐって	佐藤千登勢	(1)
毛むくじゃらで曖昧な境界 :社会的メタファーの境界でエスのグラフィックすること	ハンセン ポール 菊池麻里 訳	(58)

#### 第43号(2015年3月)

ソナンとフナダマ :韓国済州島牛島面と日本瀬戸内海地域の事例から	徳丸亞木	1
湯殿山木食行者鐵門海の活動形態 :盛岡藩領を事例として	山澤学	23
朝鮮におけるアメリカ・プロテスタント宣教師による女子教育 :米国南長老教会朝鮮ミッションを中心に	朴宣美	(1)
カンボジアのラオ村落における僧侶と村人のハック・カン	山崎寿美子	(27)